

令和2年 11月2日発行 第8号

学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115

北葛飾郡松伏町上赤岩 711

TEL 992-0051

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

発行責任者 校長

随感随筆 ～しらさぎ祭を終えて～

校長

11月、霜月。朝、校門で最後の生徒を迎えた後、週に2日ほど校庭を見回ってから職員室へ戻ります。校庭には、花梨（かりん）の木が数本あります。最近その実が熟してきて、黄色味が強くなってきました。晴れた朝には、背景の青空と朝日にあたった花梨の黄色との対比が、素晴らしいです。今年はたくさん実がなったと思っていましたが、台風が来なくて実が落ちなかった、というのが正解のようです。気がつけば、今年は台風が全く来ず、生徒の登下校や農作物の刈入の心配をせずに済んではいますが、全く来ないというのも、どこかで何かに影響が出るのではないかと、少し心配です。

さて、10月23日（金）に、第34回しらさぎ祭（合唱祭）を開催しました。しらさぎ祭の開催については、体育祭以上に悩みました。開催しなければ感染リスクは抑えられますが、生徒の成長には、その時そのクラスその学年でしかできない体験をさせることも、とても大切なことです。感染リスクはゼロにはできませんが、現況の中ででき得る感染症対策を施して生徒の活動を保証し成長の機会としよう、7月にしらさぎ祭の開催を決めました。結果的に、現時点で感染は発生していませんが、今後の3年生の日帰り修学旅行や各学年の体験的行事、さらには日々の授業においても、感染症対策と生徒の活動保障という相反する求めに、引き続き応えていかなくてはなりません。この悩みは、人類全員がコロナウイルスの抗体をもつまでは、学校だけでなく世の中のあらゆる社会的活動に影響を及ぼして、消えることはないでしょう。

しらさぎ祭の午前中は、各クラスの合唱を発表しあう合唱コンクールです。どのクラスもこのステージで1回歌うためだけに、体育祭が終わってから昼休みも放課後も時間を惜しんで練習し、歌いこんで当日を迎えます。ですから、合唱は自然と熱気を帯びますし、聴く生徒も自ずと背筋を伸ばして鑑賞します。双方の緊張感や充実感、達成感が入り混じった空気が、1年2年3年と合唱発表が進むにつれ、会場の体育館を満たしていきます。そして、会場の雰囲気は、3年生の発表で最高潮に達します。今年も3年生の発表は圧巻でした。参観した学校評議員の方が、「3年生の合唱の表現力、レベルの高さには驚かされました」と感想をおっしゃっていました。また、特別支援学級のハンドベル演奏も、難しい曲でしたが立派な演奏をしました。そして今回は、特別支援学級の生徒と有志生徒の「歌い隊」が一緒に歌う合唱発表があり、素晴らしい取り組みだと思いました。美術部、コンピュータ部、書道部の作品展示も見応えがありました。午後の、吹奏楽部、ESS部、書道部のステージ発表も素晴らしかったです。生徒と教職員が心から一緒に大笑いし、全校一体となって盛り上がりました。

「このような状況の中、しらさぎ祭を開催していただき、ありがとうございます。」開会式と閉会式で、しらさぎ祭実行委員長と副委員長が、述べた挨拶です。3年生は、最後の学校総合体育大会もなくなり、本当につらい思いをしています。日帰りとはなりませんが、代替修学旅行になんとか無事に行ってきたいと思っています。

体育祭に続きこのしらさぎ祭も、大きな実りを実感できる行事となりました。これも、地域・保護者の皆様のご理解ご協力のおかげと深く感謝いたします。今後も、子どもたちが楽しく通う、活力があって地域から信頼される学校を、教職員一同つくってまいります。